あかびら市議会

KA か WA わ RA ら BAN 版

2015.08.01 No.34

新しい議場での取り組みとして、手話通訳を実施しました。
手話奉仕員の方々にご協力いただきました。　ありがとうございました。

手話奉仕員
高橋紀子さん

手話奉仕員
河村哲郎さん

第2回定例会の主な議題

第２回定例会は、６月18日から26日まで開催され、国民健康保険条例の一部改正や補正予算など議案11件、意見書案６件を原案可決し閉会しました。

今定例会においては、議会改革の一環として、本会議での手話通訳を実施いたしました。より多くの市民の皆様に傍聴をしていただきたいとの思いから、主に市長の所信表明演説と教育長の教育行政執行方針演説を中心に、２名の手話奉仕員のご協力を得て実現することができました。

また、25日・26日の２日間にわたり，各会派・諸派を代表し、５名の議員が一般質問を行いました。

全国市議会議長会表彰状伝達式
正副議長 4年以上　若山武信議員

議長就任にあたって

北市　勲

議長就任にあたりご挨拶申し上げます。

赤平市は大変厳しい財政危機を全市民の協力により回避することができ、健全財政に戻ることができました。しかし課題は山積しており、その一つに人口減少問題があります。人口の減少は地域経済や行政運営等に大きな影響があり、早急に解決を要する課題であり市民、議会、行政が一丸となり問題解決に取り組まなければなりません。

私どもは多くの市民皆様の声に耳を傾け、さらなる議会改革を進め、開かれた議会、より信頼される議会を目指し、議会報告と意見交換会を継続して市民皆様の負託に応えてまいります。

今年の議員選挙で３名の新人議員が誕生しました。これからは新しい体制でスタートし、赤平市の発展と住民福祉の向上を目指し、安心して暮らせるまちづくりに誠心誠意努力してまいりますので、赤平市議会に対して市民皆様のあたたかいご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

会派紹介

民主クラブ

会長 若山 武信

幹事長 向井 義擴

伊藤 新一

新政クラブ

会長 獅畑 輝明

幹事長 御家瀬 遵

北市 勲

夢現会

（ゆめあるかい）　会長 植村 真美　幹事長 竹村 恵一

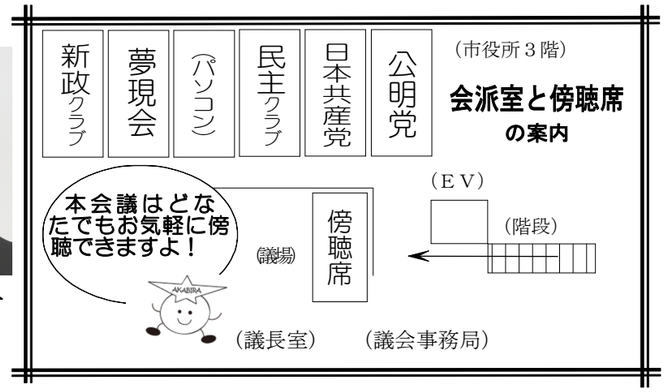
諸派紹介

公明党

五十嵐 美知

日本共産党

木村 恵



議会人事

議　　長：北市　　勲
副 議 長：五十嵐美知
監査委員：若山　武信
農業委員：植村　真美

議会運営委員会委員長：獅畑　輝明
副委員長：向井　義擴
行政常任委員会委員長：竹村　恵一
副委員長：伊藤　新一

編集後記

暑い日が続いておりますが、小まめな水分補給や十分な睡眠と熱中症対策はされていますか？　今年は統一地方選挙があり、６月定例会において、新しい市長と議員の顔ぶれになり、国と地方創生の実現を目指し、当市においてもさらなるまちの可能性を見つけ動き出す時でございます。市民のみなさまからも赤平がさらに元気になる提案をお寄せいただき、赤平をみんなで盛り上げていきましょう！
今後とも何卒よろしくお願いいたします。

かわら版編集委員会　植村・五十嵐・向井・木村・御家瀬

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会　TEL32-1858までお願いいたします。
また、赤平市議会のホームページでもご覧いただけます。

民主クラブ

若山 武信

【質問】地方総合戦略における人口減少対策について

①地場産業の活性化と人材育成の重要性について

【答弁】人材を育てることは企業の安定と繁栄につながり、産業の振興、雇用の安定を図り、赤平市の未来を開くことになるのでしっかりと企業を支えていく。また、ＩターンやＵターンだけでなく、外国人労働者の受け入れについても検討する。都市圏の労働力確保については企業と共に方法を検討していく。

②「産み育てる環境づくり」と保育料の全面無料化について

【答弁】「子育て世代包括支援センター」の早期設置を目指すとともに、赤平市産業振興企業協議会等を通じ、仕事と子育ての両立しやすい環境づくりの協力を依頼していく。４月より幼稚園の入園料を無料化、保育所の保育料を50％減額している、「幼保連携型認定こども園」の早期実現を図り、保育料無料化に向け検討していきたい。

【質問】高齢化社会における福祉施策について

【答弁】施設の増設は介護保険料に影響することからバランスを図りながら整備をする必要がある。地域の自助・互助やボランティアとの連携も視野に入れた「介護予防・生活支援協議体」を設置し、平成29年４月より「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始する予定。障がい者福祉サービスの充実も図っていく。

新政クラブ

獅畑 輝明

【質問】高齢化率43・４％の当市には、「サービス付き高齢者向け住宅」が必要であり、建設促進の支援策を伺う。

【答弁】独居並びに高齢者のみ世帯が増加している当市において、必要とされる住宅であることから、民間事業者による建設を促進するため、市有地の活用や建設費の助成制度などを創設していく。

【質問】手話に関する基本条例の制定についての考えを伺う。

【答弁】手話は、障がい者基本法において、言語として位置付けられており、市民が手話を使用して、心豊かに暮らせる地域社会をつくるためには、手話に触れる機会を通じて、市民への理解を深め、手話を学べる環境をつくっていくことが必要で、関係機関と協議しながら検討し取り組んでいく。

【質問】中学校統合計画について

統合中学校校舎に、地域交流施設を併設してはどうか。

【答弁】学校内に地域交流スペース、避難スペースを設置することは 地域に開かれた学校として、当然検討されなければならないと考えており、できる限り取り入れられるよう、情報提供しながら協議していく。

夢現会

植村 真美

【質問】北海道は海外からの観光客の受け入れ体制を強化する方向。当市でも交流人口を増やす観点で、外国人観光客を呼び込む手段を検討してはどうか？

【答弁】広域観光ルートの企画立案等に取り組み、パンフレット並びに公共サインを含めた多言語表記や文字の代わりに視覚的な図で直感的に伝達を行うピクトグラムの活用方法についても検討する。

【質問】定住人口を増やす取り組みで、おためし暮らしを実施しているがパンフレットのＰＲだけでは、期待が薄いと感じるが。

【答弁】まちのＰＲ動画を作成し、全国移住ナビや都市部施設内での待合場所や交差点など、多く人が賑わう場所で活用するように検討していく。また、市ホームページにおいても、赤平の四季の写真や子育て支援施策なども盛り込んだ移住定住支援サイトを開設する。

【質問】子どもの減少と教育環境の充実を考えた場合、小中一貫校のあり方も考えられると思うが？

【答弁】小中一貫校については教育政策全般の根本的な見直しが必要。また、現在既に平成30年度の建設に向けて新校舎に係る基本設計予算を提案していることから極めて困難。今後、小中の連携については総合教育会議の中で協議していく。

公明党

五十嵐 美知

【質問】市長の公約とあかびら創生について

①市長は社会全体で子育て家庭を応援し、子どもを産み育てやすい環境づくりを地域が一体となって進めていく必要があると表明されているが、「家族の日」制定に併せ、子育て世帯に月一度の連休の考えと働き方の改善も必要と思うがどのように進められるか伺う。

【答弁】毎月第４日曜日を「家族の日」と定め、自分の家庭や家族のあり方、近所の人とのお付き合いのあり方など考える機会を増やしていただければと考えるが、月一度の連休については、まず月一度の家族の日の協力を私自身が企業者と意見交換を行い、全市的な取り組みの必要性について説明していく。

②サービス付き高齢者住宅と継続的なケアを提供する高齢者向けコミュニティ（日本版ＣＣＲＣ）は、高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となるまで継続的なケアと生活支援サービス等を受けられる生活共同体のシステムですが、サービス付き高齢者住宅と一体の取り組みについてどのような考えか伺う。

【答弁】高齢化が急速に進み、高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯が増加している中で、生活共同体という継続的なケアを提供する高齢者向けコミュニティの考えは、非常に重要な要素であり検討していきたい。

日本共産党

木村 恵

【質問】少子化対策で出生率の向上は不可欠だと思うが、働く世代の方々が安心して子育てをし、かつ住み続けてもらえるように高校生以下の医療費無料化に踏み切ってはどうか。また、対象を高校生以下に引き上げた場合の負担費用はいくらか。

【答弁】平成24年度から中学生以下の医療費無料化や社会教育・体育施設の無料化などを実施している。今年度から保育料の50％軽減や２歳未満児に対する紙おむつ用ごみ袋の無料配布など、子育て世帯の経済的負担軽減を中心に新たな取組みを進めている。医療費無料化を高校生以下まで引き上げた場合約４００万円の公費負担が見込まれ、財政収支見通しも踏まえ慎重に検討していく。

【質問】医療介護総合法案によって要支援１・２の方が入所介護待機者から外されたが、「可能な限り在宅で生活ができるよう適切な介護サービスの提供に努める」とあるが具体策は。また現在待機者は何名なのか。

【答弁】介護度３未満の要介護者については在宅支援体制の充実と、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅の整備を検討していく。また現在のエルムハイツ、愛真ホームにおける入所待機者は約60名となっている。

副市長　伊藤　嘉悦氏（７月７日付）

監査委員　早坂　忠一氏（７月１日付）

選任されました。

訃報のお知らせ

三期12年、市長としてご尽力されました名誉市民 高尾弘明氏がご逝去されました。優しいお人柄に接することが出来ないと思うと信じられませんが、謹んで哀悼の意を表すとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

◎意見書６件　可決

①農林水産業の輸出促進に向けた施策の拡充を求める意見書

②地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

③認知症への取り組みの充実強化に関する意見書

④道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

⑤環太平洋戦略的経済連携協定の交渉状況に関する情報開示を求める意見書

⑥安全保障法制の慎重審議を求める意見書